

2007年 3月 松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	10.1	45.8	11.0	±0日
岡崎店	5.1	1.9	5.6	+1日
名古屋駅店	0.5	4.3	5.3	±0日
豊田店	1.1	3.7	0.4	±0日
高槻店	1.4	5.0	6.8	±0日
上野店	0.0	23.8	18.3	±0日
銀座店	13.6	5.0	2.7	±0日
静岡店	0.2	10.5	0.9	±0日
合計	5.7	100.0	1.2	

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	1.8	5.8
婦人服・洋品	4.9	26.9
子供服・洋品	2.4	5.8
その他衣料品	1.3	4.0
衣料品計	3.6	42.6
身の回り品	14.9	9.7
化粧品	12.7	3.7
美術・宝飾・貴金属	13.6	6.1
その他雑貨	20.8	6.1
雑貨計	11.9	15.9
家具	4.2	2.7
家電	23.4	0.7
その他家庭用品	10.2	6.0
家庭用品計	9.8	9.4
生鮮食品	15.8	3.4
菓子	7.0	6.9
惣菜	3.6	4.7
その他食料品	19.4	4.4
食料品計	3.7	19.4
食堂・喫茶	16.6	1.9
サ－ビス	12.4	0.6
その他	17.1	0.5
合計	5.7	100.0

3. 商況概況

< 主な店舗別売上高概況 >

- ・全店売上高は対前年 5.7%。前年実施を上回った店舗は、名古屋駅店、豊田店、静岡店。
- ・名古屋店は、主要会場催事は好調だったものの、前年の北館グランドオープンの反動や本館9、10階レストラン街改装のための閉鎖などの影響で前年を下回った。
- ・豊田店は会場催事が好調に推移し、8か月連続で売上増。
- ・高槻店は7日のグランドオープン後、入店客数、店頭売上高は前年を上回ったが、法人外商売上減で店舗計では前年を僅かに下回った。
- ・上野店は3日のグランドオープン後、入店客数大幅増となり、店頭売上高は好調であったが、法人外商売上減で店舗計では前年並であった。
- ・銀座店は前年大口計上の反動等で、売上高は前年を大幅に下回った。

< 主な商品別売上高概況 >

- ・婦人服・洋品、身の回り品はラグジュアリーブランドの不振などにより、前年を下回った。
- ・化粧品は、国産ブランドの牽引で好調を維持し前年を上回った。
- ・美術・宝飾・貴金属は時計等が好調だったが、美術が苦戦した。
- ・その他雑貨は、法人外商大口受注減のため大幅減。
- ・その他家庭用品および生鮮食品は、カタログギフトの計上方法変更により大幅減。
- ・その他食料品は、法人外商の大口受注で大幅増。
- ・食堂・喫茶は、名古屋店本館レストラン街改装に伴う店舗閉鎖により、前年を下回った。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 (株)松坂屋ホールディングス (名古屋) 052-264-7028
 広報・IR室 (東京) 03-3572-1021

Matsuzakaya
 HOLDINGS

2007年3月 横浜松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	入店客数(%)	営業日数増減
横浜松坂屋	2.4	0.3	±0日

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	16.2	2.9
婦人服・洋品	2.6	17.2
子供服・洋品	1.8	14.5
その他衣料品	22.5	1.2
衣料品計	4.3	35.8
身の回り品	13.4	2.8
化粧品	19.4	3.0
美術・宝飾・貴金属	8.4	8.0
その他雑貨	13.6	1.3
雑貨計	7.8	12.3
家具	200.1	0.3
家電	35.6	0.7
その他家庭用品	29.9	2.6
家庭用品計	26.6	3.5
生鮮食品	0.3	13.3
菓子	3.1	6.5
惣菜	4.4	7.6
その他食料品	40.6	1.6
食料品計	4.3	29.0
食堂・喫茶	8.3	2.1
サービス	6.9	6.8
その他	1.8	7.7
合計	2.4	100.0

3. 商況概況

< 主な売上高概況 >

- ・売上高は対前年 2.4%。
- ・入店客数は、0.3%と前年を割った。
- ・外商部門は個人部門、法人部門ともに好調。

< 主な商品別売上高概況 >

- ・紳士服・洋品はカジュアル衣料の苦戦により前年を下回った。
- ・その他衣料品は、催事の月ずれにより大幅減。
- ・身の回り品は婦人アクセサリーが好調で前年プラス。
- ・化粧品は限定品・セット物が好調で前年実績を上回った。
- ・美術・宝飾・貴金属は催事の月ずれにより増。
- ・その他雑貨、家電、その他家庭用品は前年大口の特注の反動減。
- ・その他食料品は食品ギフト券計上方法変更に伴い前年割れ。

(注) 2表の構成比合計は、計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 (株)松坂屋ホールディングス (名古屋) 052-264-7028
 広報・IR室 (東京) 03-3572-1201

Matsuzakaya
 HOLDINGS